

Written by jpuser

Tuesday, 04 August 2020 00:40 - Last Updated Monday, 10 August 2020 16:46

コロナウイルスの

COVID-19が える でのめ

マイケル・ライトマン



□□□

はじめに

□□□□□□ からパニックへ

□□□□□□

□□□□ なぜ□

□□ がつながりを□□ する

つながった□□ にある□ いれないもの

□□□□□□

□□ における□□ なつながり

□□□□□□ なワクチン

□□ つに□□ された□□ と□□

□□□□□□ しい□□

□□□□

ロックダウンの□□ のイタリアで、□□ が□□ のバルコニーから、□□ で□□ に□□ う□□ □□ な□□ を□□ たとき、□□ の□□ □□ の□□ の□□ として□□ られるであろう、□□ しい□□ の□□ り□□ にいることを□□ りました。

コロナウイルスは、□□ たちの□□ を□□ しました。□□ たちの□□ をつき、□□ り□□ る□□ □□ とこれから□□ くることを□□ する□□ を□□ えませんでした。

Written by jpuser

Tuesday, 04 August 2020 00:40 - Last Updated Monday, 10 August 2020 16:46

ウイルスの...ない...に...し...き...こされたパニック、それに...する...さ。...、それによって...されたのは、...しい...の...でした。...、このウイルスほど...たちの...を...させた...はありません。...に...えないほど...の...が、グローバルな...のインフラを...して、ほぼ...わりのない...で、...たちをそれぞれの...に...しています

かつては、テロや...、...が...たちを...かしていましたが、ウイルスにはどんな...も...も...しないため、...、...たちは...にくれています。

...たちが...した...な...は、...や...レベルだけでなく...や...を...え、...い...を...びかけています。ウイルスによる...の...と...は、...たちの...の...を...えています。しかし、...しい...の...けは...かに...で...じられているのです。

『コロナウイルスの...COVID-19が...える...での...め』は、...が...にわたり...し、...えてきたカバラの...の...から、...が...した...しいプロセスを...していきます。...はカバラに、...で...するあらゆる...にある...を...つけています。『ゾハールの...』の...、『スラム』...『...はしご...』...をしたことから「パール・ハスラム」...ヘブライ...で「...のマスター」...とも...ばれる、...のカバリスト、イエフダ・アシュラグ...。その...であり...であるカバリスト、バルーフ・シャローム・ハレヴィ・アシュラグ...、「ラバシ」から、...はこの...を...ています。

「...ある...に...れる...の...が...を...させる...となる。それらを...して、...は...の...を...る。...めを...するに...のおける...の...が、...を...も...ましい...の...へもたらし、あらゆる...や...を...するのだ」パール・ハスラム「...」より

.....

イスラエルにいるが、コロナウイルスのことをににしたのは、くられたでウイルスがしている、というニュースでした。たちのになをえるとはいもよらず、ニュースはのへっていきました。

まず、アジアのカからしたのがのとなりました。その、などほかのへもフライトがキャンセルされ、からののはでをこすことがけられました。しかし、それでも、それがたちにとってをし、がこっているかについては、まだもつきませんでした。々がしていたなことは、にしているくのがどうなるのか、ということでした。

いというところでこっているが、すぐさまなとなり、たちをしてくるなどがえたでしょうか。

くのが、のきたさなれがほかのにをえるバタフライについて、いたことがあるといます。しかし、たちはそのをどこかおよびなものにびつけていたのです。

パンデミックのでは、ウイルスがにしになるなどとは、まだってもしなかったため、なはであるといえるもいました。コロナウイルスはインフルエンザほどにかかわるようにはえませんでした。はく、ににいたちにをぼしてました。そのため、ののをすべきかがはっきりしなかったのです。

のでは、パンデミックのまんえんがし、、とのが。やかさ、、パニックがをいました。ロックダウンのがよりたくさんのでとなり、のがいめました。

のごとく、たちのながされました。々はスーパーマーケットをし、そのをして、のにしました。トイレトペーパーがなくなりました。をしなくなりました。、ソーシャルネットワークは、をいいたいつわりのジョークであふれていました。

にをうようになりました。のガイドラインをしているのかかどこにいたのか
としていたのかにのをっていたか
また、くしゃみやせきをしようものなら、それはをかすになってしまうのです
。

のたちは、づけばをわずをしてあたふたし、のをくことなくウイルスのを
することにをてていました。までのや、さらにはテロやの。そういった
すべてが、のたなをに々にえていったのです。

それまでたちは、どんなをおうか、のにはどこへしようか、のどんなをのフ
ァッションアイテムにしようかといったことにをっていました。ところが、コロナウイル
スのながりが、にたちをしいへりんだのです。そして、どうやってなニーズ
をたせばいいか、というなにしました。

もべるものはあるのかはまるのか
にもされなかったとして、どれくらいくってもらえるのか
もし、や、などのローン、をうがなくなったらどうなるのか

□□□□□□□□

Written by jpuser

Tuesday, 04 August 2020 00:40 - Last Updated Monday, 10 August 2020 16:46

かたわらから私たちを試みれば、しがたくなみにべて、たちがいかにさくいかを、
コロナウイルスがあらわにしているのがわかります。サメのごとくがをきくけている
に、たちはそのをてずさりしているのです。

さらに、コロナウイルスは、ではあっても、たちのくびついたをらかにしていま
す。なにしろ、したりじスペースでごしたりという、ほんのわずかなからいにしま
す。その、がないにしろ、のガイドラインをにしているにしろ、にもの
をしてしまうことになるのです。

の々とにコミュニケーションしたり、オンラインショッピングをしたり、しょっちゅう
あちこちへでフライトしたり、さらにはあらゆるのを、ずつしたり。にな
ってから、たちはそういうことに、すっかりれしんでいました。しかし、つながりがこ
れほどまでくなっていることは、できませんでした。たちのにられたびつきをほどく
ことはです。

コロナウイルスは、くれたのかのが、すぐさまたちのになりるというをらかに
しました。、や、は、たちがいかにじのにいるかについてしめて
いました。それが、のパンデミックへのとともに、グローバルなとしてのな
となったのです。

かに、コロナウイルスは、たちのできてし、にしようネットワークをたせました
。こういったネットワークはウイルスのにもありましたが、それにづかずせずに、
をっていました。

「はすべてののに、ののでさらけされてくる」と、NATOのハビエル・ソラナはく
に、バスクのダニエル・インネラリティとのである「
The New Grammar of Powerへのしいほどもき」というでべています
。このでソラナとインネラリティは、なについて、かなりにじていま
す。そして、いかにたちがにあるかをするには、いにするをにえる
がある、というなをきしました。

「エネルギー・リスク、テロの脅威を減らしてください。エネルギーによる不安、不安による不安、不安の不安と不安の不安にたいそのリスクも、メディアによってあおられるパニック。不安にたいしているものはありません。不安の不安は不安や不安であり、私たちはもはや不安にしなくてはいけません。すなわち、そこから不安を減らすことをむようになります。不安たちは、不安や不安よりも、不安にとっての不安の不安で不安されている不安で、不安の不安を減らさなければなりません」

不安につながった不安にたいしている不安たちに、不安や不安が不安になりました。不安は不安の不安となり、不安の不安が不安になりました。まず、不安の不安が不安されました。その不安、不安にたいなくとも不安メートルの不安の不安、マスクと不安の不安、COVID-19の不安と不安にたいした不安の不安、という不安が不安されました。そして、不安々にロックダウンへの不安をたどっていったのです。

不安がつにつれて、不安の不安が不安し、不安システム不安の不安が不安しました。あらかじめそのような不安を減らす不安はありませんでした。そして、この不安が不安たちへ不安づきを減らしたのです。ウイルスの不安な不安を減らすには、不安たちが不安に不安を減らすことだけに不安がある、ということ

コロナウイルスが不安れる不安の不安では、不安など「不安なんじ不安のごとく不安の不安を不安せ不安りの不安を不安のように不安なさい」のような、ありきたりの不安よいスローガンのように不安っていました。そうであるとよいと不安ながらも、不安もがそうなるとは不安しない不安だったのです。不安の不安は、不安き不安るためにそういった不安を減らすよう不安されますが、不安では、不安は不安な不安とされて

コロナウイルスはすぐに、「不安」という不安が不安らしい不安のみ不安わせ不安であることを不安らかにしました。不安もが不安かを不安させる不安があるため、不安たちが不安に不安を不安う不安がありますそれを不安むかどうか、不安しているかどうかにかかわらず、不安な不安る不安いをする不安が不安を不安ち不安し、すべての不安を不安にさらす不安の不安を不安き不安すのです。

Written by jpuser

Tuesday, 04 August 2020 00:40 - Last Updated Monday, 10 August 2020 16:46

多くので、COVID-19とされたがにさらされ、そのたちのがのになりました。そしてもが、そのときそのにいたかどうかをするようされ、もしするなら、して、それをにしなければなりません。このように、コロナウイルスはに、およびにをえました。ウイルスがしていくをして、グローバルにおけるは、であろうとをっていることをえたのです。

がすればするほど、がしくなり、がし、りがになりました。そして、にがこるのかこのパンデミックはいつわるのかこののはなぜ私たちはこんなことになっているのかといった問いがしてきたのです。

たちがにじめられている、によるからにするまで、ウイルスのについてさまざまなが、ソーシャルメディアにされ、まりました。の々が、にをつかれたこののすくむようなについて、のをめています。

コロナウイルスはなぜしたのかと、そのままねるのは、あまりにもどもじみているかもしれませぬ。パンデミックはもししいものではなく、、、だとしてにできるものだからです。例えば、のスペインやをしてしたくのパンデミックでは、あるをにさせています。しかし、カバラのがしているように、このをののというからるなら、たちののでしていることにをて、しいえをらしすことができます。

から、、のとをしているカバラによると、というシステムは、やにすること、および、、なすべてのののにあるです。

コロナウイルスがしたのにあるを、なによってきめることはでしょう。しかし、そのようなでとされるのは、いかなるも、としてよりなのにすぎ

ないということです。

コロナウイルスはかけゲームのようなものです。このきは、まさしくののなるレベルへのなので。

にするたちのは、がするにつれ、もされていく、というからきています。では、のからやへとさまざまなにする、そしてからパンやワインといったやにえるをえしました。

その、はや、といったでのをするため、やエネルギーの、におけるエネルギーといった、さまざまなやをしました。しいやのは、それまでくけられていたにするアインシュタインのなど、しばしばのものにするによってなされてきました。

たちのやこることのすべてが、ののでりげられています。がどのように、なぜしているかをればるほど、コロナウイルスのパンデミックをむ、このでこるくのものについてがまります。

カバラのでは、のさまざまなレベルにあるつながりをしています。それはパール・ハスラムが「」でしているとおります。

「たちののにあるには、それぞれのになつながりがある。つまり、、、、スピーキングというタイプからなるのあらゆるきは、とのについている。これは、しのもなく、なからこのやりをすべてのにとってで

ある」

カバラでは、を、スピーキング、そしてスピリチュアルとつレベルに、のレベルに。スピーキングレベルとは、というがにしたのことで、カバリストとも。

するものつひとつがすべてに、あらゆるきがされたをほします。さらに、をして、のはますますつながりをします。とは、に、したのをなへといたらせる、の。そうして、とがつながることで、きたがしました。その、およびレベルでののをさせるために、はよりくのつながりのあるをっていきました。

もまた、このつながりをやしていくれにっています。までは、はにがったなにつながつていましたが、のたちはもっといにつながつています。・していきたいというが、や、ののつながりをにするのへいていったのです。や、ラジオ、がにいるとをつなげ、インターネットにより、もがくにつなされるようになりました。このつながりへのきが、をよりさく、よりにさせたのです。

のでのエリザベート・サートウリスは、がいかにをとにけてしているかをしています。そしてそのたびごとにをこし、やがてによって、よりなレベルでのつながりをさせることでするとしています。したがって、がさなになるをたどったことはではありません。それは、よりくくつながつたへいたるという、ののななのです。

カバリストは、このつながりをやしていくをこうしています。の、つまりのシステムでするなは、よりなリンクとウェブをすることで、よりにびつく。

Written by jpuser

Tuesday, 04 August 2020 00:40 - Last Updated Monday, 10 August 2020 16:46

『ゾーハールの』のなでは、トルドットToldotの、このはのようにべられて
ています。

「のはにかれ、すべてがをえたでのにをり、それらすべてでつのとなる。
。に、すなわちののものにがあるであり、それらすべてでつのである。
。そして、すべてがされたとき、かにつのとなるのだ」

、はあるの「」として、つにつながつたである、とにするはますますえて
います。そして、コロナウイルスによってらしされたが、こののをかなもの
にしています。をむのは、にびつき、にしているのです。

はわかりました。それぞれがほかからしてくからの、、、にく
で、にしいされた、がなグローバルへとしています。

グローバルとはつ、つまりのことです。

とはのつながりをし、すべてがなくしているです。

たちは、グローバルでされたをまだがものにしていませんが、たちがそのシステムに
しているというはわかりません。

はすべてがつなぎわさっています。このつながりのさは、カバラのをしてのな
システムをにするにつれ、されていきます。このシステムではつながりのネットワークがま
すますくなり、そのでをしけるには、たちのえやにをもたらずがあるの
です。

コロナウイルスというとても小さなものが、この世界の隅々まで、そして人だつなりの
の隅々で私たちを包み込みました。私たちは無防備にいき、それを許していました。それを
、このつながりが壊れた小さなウイルスを無防備な世界へと放したのです。

世界には、すべてをつなげし、美しい、より強固につながるよう世界の隅々をく、という
があります。しかし、それとは異なり、世界にはもともと、その隅々の隅々で働くメカニズムが
あります。このメカニズムは、世界の隅々をくみ、世界の隅々からなるシステムの隅々として、
ることを許しません。

このメカニズムはカバラで「エゴイズム」と呼ばれており、多くのから呼ばれています。
エゴイズムの最も基本的な形では、にが持っているものやしげたことでとします。たち
の美しいが、や、キャリア、ども、、、ほかに、多くので、よりよいと
たいからです。

その、バランスの壊れたを壊れればよし、そのためにがめるものをにするだけでよし、
とはなくなり、ニーズにえて、的なのためにからするがまります。だから
、たちはほかのとは異なり、やをアンバランスにしているのです。

「エゴイズム」には、をうことでをめていくがある。がよりにきるために、
かれなかれ、しみやからするをするようにされるからだ。また、それはな
しみではなく、ののためにをするというにれ、り、、、という、に
じたくれたエゴをてる。これは「いいエゴイズム」と呼ばれる「パール・ハスラム」、
より。

このメカニズムは個人レベルにもなっています。や、々をししたいというは、と

いえるな の にあり、それがこれまでのすべてを し してきたのです。

より つながろうとする の と、 やグループ、
、 といたのほかを にして の を する、 たちの にあるエゴイステイックなメカニ
ズム。 たちは するにつれて、この つの する の き いを じていました。

たちをさらにさらにとつなげるよう しめる の と、 に つるエゴイズムの める
。 の になのは、その つの にある に い です。

コロナウイルスの、 たちは つぶちに っていました。 した

、 な、 への の まり、 に の のない を するほぼ なテロ。これ
らの だけでも、もはや な き は、 のシステムの で きるには さない という
になっていたはずです。 を えなければ、システムが
してしまうでしょう。

の りのすべてに する たちの な は、 くの な をもたらしました。 とりい、
もっと になり、より い や い を って、ほかの を したいという、 たちそれぞれ
が つ。それが、 を というほど する な へ いたのです。

、 への な が、 にいろいろと されています。その な から、 たちはこの
をさらによく するようになりました。しかし、それは の ではありません。

なぜでしょうか

は、をしようとするたちのが、らのなのであること、がよりりたいとんでいることにあります。エゴはりのすべてのものをたちのをすることとしてせ、、、、というのとしてのをめ、ゆがめます。

しかし、はそのすべてをつなげるシステムであり、そのでにはありません。が・なをとするこのシステムのルールをできないと、そこにあるが、やハリケーン、イナゴの、COVID-19など、あらゆるとにれます。

したがって、コロナウイルスのワクチンやをつけたらはするとえているなら、それはいいです。をることができず、までやってきたようなをけるのなら、たとえのウイルスにするがつかったとしても、よりなウイルスがれるか、によるほかのがいていくでしょう。

つまり、たちはのつながりのをえすがある、ということ。なぜなら、たちはの、もしただからです。たちのつながりをアップグレードすることは、のりのすべてにするにをほします。そして、あらゆるでをもたらすのです。

「ののにあるのきさ、およびのでがいるがいかにであるか。これらは、トラーカバラのをじて、まだにらかにされていない。そして、このかしは、にたるものとなるだろう」

ラブ・アブラハム・イサック・クック、『オロット・ハコデシュ』 Orot HaKodeshなるより。

のさまざまなレベルのつながりは、たちのをはるかにえています。にあるはにすることとしており、とはなのです。そのシステムでは、、、、なもの

のから、やまで、さまざまながいています。システムのがであるほどされてちませんが、いをちます。

のはにをめ、それとするにじて、や、はシステムからをきこします。したがって、やにする、たり、つながりなど、すべてがのシステムにをえします。そのはたちのをえて、のすべてのレベルでのようにがります。どうしてでしょうかそれは、システムはされ、ににつながりしっているからです。

カバラのは、がいにつけうとき、そのながのシステムにをえるとをらくかしてきました。つまり、たとえもあるをとらなくても、にをえようとするとそのものが、すでにシステムのをしているのです。しがたいかもしれませんが、たちのとは、にりれないをえています。

しかし、するができていのかどうかにはなく、のはりけています。はシステムチックにし、たちののつながりをりして、たにのグローバルにする、よりんだしたつながりをるよう、たちにしてきます。

コロナウイルスのは、たちのにあるとをよりにしました。や、などのあらゆるいをして、からへ、からへと、いかににっていくかをしたのです。

また、のをたちのいいようにしようとしていているなら、それはらかにいいです。にはたちよりもはるかにいとなルールがあります。それをし、そのルールにじてするとき、でのからで、たちはしいにることができるでしょう。

「ひとり、あらゆるものが、この世とこの世はまったく同じであると信ずるだろう。その中で、人は人に殺される」パール・ハスラム、「1984」より。

私たちのエゴイスティックなシステムは、この世のシステムに力を注いでいます。しかし、それをすれば、人が人々を殺しているすべての人を殺すには、力を注ぐればよいかを信じています。この世でも、人は人のつながりです。私たちがプラスの力の働きをすれば、この世のレベルにあるシステムに殺させられます。

この世の力がすべきものは何か

私たちに必要なのは、エゴの力で信ずるといふ、正しい力を信ずることです。殺された人の命の信にうながされます。この世というものを、殺された人の命から、力を注ぐウェブサイトの信で信につなげられた人と信ずるようさせる、ということです。

この世の信だけを信ずるのは、信ずれとなりました。この世の信には信づかわしくありません。信づけるもの信では、信々の信と信せも、信に信する信の信も信できません。

この世システムでは、信が信に信を信え、信しています。したがって、信の信と信せを信ずるために、信すべき信を信の信から信の信へと、信き信える信があります。信の信まで信の信りますが、パール・ハスラムは信の信「1984」でこの信を信らかにしています。

「信々の信において、信ひとりの信せのために信の信が信けるとき、信はその信に信じて信の信のような信の信になる信がある。したがって、信に信や信、信を信ずるには、信の信信がそうではなければありえず、信もまた信かりである」

コロナウイルスのパンデミックは、私たちのつながりのネットワークにおける信に信な信を信えています。私たちがこのつながりのシステムを信じていて、その信として、もっとバランスよく信ずるようにと、信を信ししてくれているのです。そして、私たちが信まで信りに信きけるのは信な信を信しています。私たちが信たちの信と信を、信と信を信の信システムとして信け

Written by jpuser

Tuesday, 04 August 2020 00:40 - Last Updated Monday, 10 August 2020 16:46

れるように、きくさせるがあります。そので、たちがなる・としてきるのです。にえば、たちは、にし、にしているということ。りすべてのをししないり、たちはきることができません。

ののをし、それにしてたちのをくさせるほど、こののにするしみをけることができます。しかも、もしのをしなければ、にるはコロナウイルスよりもくなるとされます。

「々とのために、のをしいるがよいだろう。それが、のがたちのために、このにしたあらゆるやをしりくことになる」バール・ハスラム「」より。

つにされたシステムでは、どうするのがなのか。それをするために、を試みましょう。は、をよいにつよようにしていますが、、そんなことはおいなしに、すべてのがしたいことはでもするとめたをししてください。そのでははできず、すぐにがしてんでしまうでしょう。をにさせるには、とをしにすることがある、ということです。

そのため、なパンデミックといったにするのワクチンになのは、のにたちのをしさせることです。つまり、コロナウイルスにめられるおよびのを、におけるつながりのとするのがだということ。

さまざまになり、さえしている々ののつながりを、なみにみげていく。そのをしすることが、ののなるレベルです。のにびったりのをしには、ひとりがとのつながりをめていくことがめられます。いをし、しうためにできることをするには

、いのをにするセンスがです。ややこしいことまりないですが、それができればしもが、のなでさえ、しいへのにあることをします。

をじるセンスをめると、なことはもちろん、のとをできるようにになります。そうして、をるがし、とをつとしてのためののをするようにになります。その、をるがします。ののがき、はたちのがかなかったががるのです。

そのようにんだで、それぞれがのをささげるをもつとわります。たちはそれぞれ、をりしたなのためではなく、のとのために、のやをめ、いていきます。そして、りをよりくじ、それをのにりみめます。すると、いにつながって、がし、えていることをできるようにになり、とをして、よりなになっていくのです。

いによりにつながるように、インスピレーションをかせ、まし、サポートをしてにをえるほど、たちはしてアップグレードされたとなります。におけるたちのがまってしまうのです。

たちにあるののと、のつながりをすること。それはネットワークからたちへ、たちからシステムへとぼすや、のとについてえることでるものを、たちひとりにさせ、じさせます。そして、よりがであることがわかるようになり、や、ののにがどのようにれてくるかをるようになります。また、がシステムにやをもたらずかもにできるようにになります。でるのあらゆるがだしくりわっていくのです。

その、はいのことをいやり、にをつになる、というがされます。それによって、をからへとするのにつ、しいツールがられていくをるようになるでしょう。そのツールは、たちがしいをとるをさせ、ののやをよりくし、じるにふさわしくなるようけてくれます。

たちののがかなりめられたとき、まったくしいや、とといったを、がることになります。りの々にをもたらし、け、まし、インスピレーションをえ、を

Written by jpuser

Tuesday, 04 August 2020 00:40 - Last Updated Monday, 10 August 2020 16:46

めようとするちは、のにかかりきりになっているや、な、のにするから、々にたちをきちます。がなからになるとき、たちはたちにあるものといをることになるのです。

このにかれたは、ユートピアのようでいえにじるでしょうかかにそうかもしれませぬ。しかし、えてみてください。コロナウイルスに、じきにほぼすべてのがなくなり、のがして、の々がにじめられるとったなら、それがどれほどじみていたかを。

「このは々をいてるのにかである。だから、なぜにもわたってにをとしてきたこのなでぬがあるのか」パール・ハスラム「」より

コロナウイルスはたちをにし、どうやってうがれるのかをたちにさせました。パンデミックへのがなかったのはです。をけましたが、がたつにつれて、くのがにまれてごすことに、めてをいたしました。

たくさんのが、のでわれたというものをわっています。とにたくさんって、ゆっくりとをごし、する々がうことにをけ、や、しみといったちをがちっています。

しかし、コロナウイルスの¹が、くからいたずらにウインクするかの²ように、³で⁴ってこいと⁵してきます。このとき、⁶たちは⁷に⁸の⁹な¹⁰を¹¹えられ、¹²の¹³を¹⁴つめていきます。そして、¹⁵の¹⁶に¹⁷に¹⁸りたいのかどうかを¹⁹するのです。

コロナウイルスの¹は、²たちや³どもたちの⁴によってではなく、⁵のエゴイズムによって⁶された⁷システムのルールによって⁸されていました。⁹から¹⁰まで¹¹き、¹²れきっていらいらしている¹³の¹⁴わりに¹⁵や¹⁶に¹⁷する、というのが¹⁸の¹⁹でした。そうでなければ、²⁰となっている²¹をやりくりすることはできなかったでしょう。

¹の²の³は⁴にあります。⁵に⁶を⁷み⁸し、マーケティングし、⁹に¹⁰させます。そこにある¹¹は、¹²を¹³やし、¹⁴を¹⁵し、より¹⁶を¹⁷させることで¹⁸からさらに¹⁹することです。

¹が²たちに³を⁴させ、キッチンや⁵をリノベーションさせ、⁶て⁷すほどのシャツやジャケット、ドレス、⁸などを⁹わせました。また、¹⁰で¹¹へ¹²ったり、レストランへ¹³かけたりする¹⁴を¹⁵とんとんと¹⁶やしました。¹⁷たちはそれを¹⁸の¹⁹びとして²⁰を²¹めることにすっかり²²れ、それらで²³を²⁴たせば²⁵たすほど、²⁶は²⁷していると²⁸えたのです。

¹らを²した³システムに⁴って、⁵に⁶な⁷を⁸に⁹れるという¹⁰のもと、¹¹たちは¹²に¹³き、たくさんのお¹⁴を¹⁵ぎ、¹⁶しむことに¹⁷をささげてきました。¹⁸で¹⁹も²⁰しい²¹で²²を²³ごしては、²⁴いに²⁵っていったのです。

そして、すべてが¹りつきました。

¹く²と³どもを⁴しく⁵する⁶のように、⁷はコロナウイルスという⁸をとり、こう⁹って

います。「やっていることすべてをやめなさい」へって、わり、
をしているのかえてみなさい」と。でにきこしているあふれるほどのをらないの
かこのままやりけるなら、にははなことになり、がもっとひどくになるとはわな
いのか
になものとそうでないものについて、にえてもらいたい。なものはずべてりいて
もらいたい。また、があなたたちをのへしたときには、あなたたちのとあなたたち
に、
もってよくわってくれることをっ
ている
」。

このウイルスはたちをさせつつあります。それはのようにたちをい、たちののに
していたれをたくさんいしました。でになものかかにきたいとむとは
をあげよ、あげよといめることのとは
たちをにさせ、せするにはどんなやをみてればよいのか
こういったことをにえめるがえているのです。

たちのいみでの「な」は、をしけるためになりものをし、し、てるこ
とでした。けんそうやからつくことをなくされた、もっとなことをするが
かれています。

たちはもっとに、かく、をもってつなげるためのとをえられました。

とよりくつながったり、のやをもっとにかけたり、のでこっていることをい
たり、ということができるようになったのです。

たちは、えるがあります。せをちちえるようにサポートするシステムで、プラスの
の、みやすいをするにはどうすればいいのか。なとをなくしたときに、メ
ディアやはどうなるかを、しの、してみてください。

これはではありません。のでは、それしかのがないのです。

たちのつながりのをめることは、のにおいて、がたちにしたであり、たちはらかの、それにしなければなりません。のをできず、それにするをけるなら、コロナウイルスでこったこととしく、のにするようにいるがきます。

にしいとは、をとして、それぞれがしうことをぶところです。

のことながら、そのようなはたちのをえています。だからこそ、カバラの、つまり「つながりのメソッド」がたちのでらかにされたのです。ただし、これについて、ここでしくすることはできません。

のつながりがたちのすのになり、たちはいにいやり、をち、えって、のあるをはぐくんでいくことをびます。すると、にはそのとじでをかすがあることをじるようになります。

それは、をして、々がをかけてしてきたものです。たちはそれを「」や「」、 「」ほかくのでんできましたが、それがにであり、どこにするのかをすることはありませんでした。

しかし、やたちは、それがつながりとのであり、のであるとづくことができます。このはにあるものでも、たちののにあるものでもありません。それは、いにするをして、しくいていく、プラスののいところにちていきます。

たちはで、そのをみすことができます。がつになり、にむときだけ、それがです。りってはなりません。いにするいをさせてはなりません。

Written by jpuser

Tuesday, 04 August 2020 00:40 - Last Updated Monday, 10 August 2020 16:46

もっともっとプラスのつながりに、いいに、見えるよう、みます。それがかなえば、コロナウイルスに、さえするでしょう。コロナウイルスがもっといいへ、たちを、ししてくれているのがわかるからです。

プラスにつながったへ、かうこの、な、を、させるために、たちに、と、を、えてください。

「すべては、のもとにある」——『ゾハールの』 ヴァエトハナン [VaEtchanan](#) は、する、より——